

がん検診

一生の間に、日本人の2人に1人ががんになり、約3人に1人ががんで亡くなるといわれています。こんな現実があっても、ほとんどの人がまさか自分ががんになるとは思っていない。まだまだ他人の病気と誤っている人も多いのではないだろうか。

がんは、生活習慣病の1つなので、タバコを吸わない、お酒を飲みすぎない、食事や運動に注意することで、がんになるリスク(危険性)は減少させることはできます。しかし、完全に予防できないのが、がんという病気の本质でもあります。

最近の研究では、がん細胞は健康な人の体でも1日5,000個も出来ていて、毎日、免疫細胞(リンパ球)に退治されています。たまたま、免疫細胞が取りこぼした1個のがん細胞が、10年〜15年の時間をかけて、1cm位の早期の「がん」へと育っていきます。

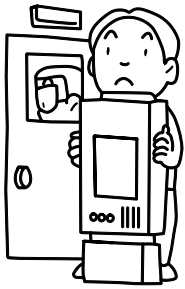
そして、この1cmのがんが2cmになるには、2年もかからないと言われています。

早期のがんでは、症状はないことが多いので、早期にがんを発見するのが検診の役割です。

町で実施する検診は、肺がん・胃がん・大腸がん・前立腺がん検診は40歳から、乳がん検診は30歳から、子宮頸がん検診は20歳から受けることができます。検診を受けて早期のがんのうちに発見し、治療に結びつけることが大切です。

一生の間、がんにならないですめばいいのですが、どんな気をつけていても、誰も「がん」を完全に防ぐことはできません。自分や家族、大切な人を守るために、がん検診を受けるようにしましょう。

(健康福祉課 保健師)



学校コーナー

学校紹介・ 宿泊学習から



みんなで協力!焼きそば作り
(4年生宿泊学習)

五霞西小学校

新型インフルエンザ流行の影響もあり、4年生の宿泊学習を今年度は、12月にさしま少年自然の家で行いました。野外での焼きそば作り、プラネタリウム見学、オリエンテーリング、キャンドルサービス、県立自然博物館見学など、貴重な体験活動をしました。夕べの集いで各学校間交流では、児童による次のような学校紹介がありました。

〈4年 藤沼 香奈〉

私たちの五霞西小学校は、五霞町にあって1年生から6年生まで全部一クラスの学校です。だから学年が違ってもとても仲が良いです。毎週水曜日の昼休みはロングといって1年生から6

年生までがグループを作って一緒に遊びます。一輪車、竹馬、なわとび、ドッチボールなど、いろんな道具で仲良く遊びます。

私たちの学校の自慢は、これまでダブルダッチや一輪車で県大会に出場したこと。毎年、休み時間に4年生から6年生までが練習を頑張っています。昨年6年生が、ダブルダッチで県大会で優勝しました。他にも、五霞西小では業間マラソン、なわとび大会、タグラクビーなどいろんな大会を行っています。

五霞西小は、休み時間の始まりや終わりなどにチャイムがありません。それは、五霞西小のみんなが、自分で時計を見て、きちんとできるようになるためです。私ははじめ、「なぜ、五霞西小はチャイムがならないのかな?」と思いました。でも、おかげで、自分で行動できるようになりました。

このあと、五霞西小4年生の代表が、縄跳びでダブルダッチを披露しました。参加していた他校の友だちからたくさん拍手をもらいました。

本校では、様々な体験を通して、知・徳・体をバランスよく身につけ、『生きる力に満ちた人間性豊かな五霞西小の子ども』の育成に取り組んでいます。



ゴールは目前!持久走大会
(全校児童)

お待ちしております
ご意見・ご要望をお待ちしています。
あて先 ●町長(直通)
FAX(84)1550
●企画財政課広報担当
☎(84)1111(内線221)

2月の納税		納期限3月1日(月)です	
国保税	8期	町民税務課	税務G内線254
後期高齢者医療保険料	8期	町民税務課	税務G内線253
介護保険料	随時	健康福祉課	高齢者支援G内線239
保育料	2月分	健康福祉課	社会福祉G内線237
学校給食費	11期	教育委員会	学校教育G 84-1462

人口と世帯 (1月1日現在)	
総人口	9,590人(-11)
男	4,803人(-9)
女	4,787人(-2)
世帯数	3,028世帯(+3)
※()内は前月比	